

海外で働きたい！日本語教師が今、やるべきこと、知っておきたいこと

ー海外でも活躍できる日本語教師になるためのノウハウを学ぼう！ー

国際交流基金が2021年に実施した「海外日本語教育機関調査」の結果によると日本語教育は世界の133の国と8つの地域で行われています。日本語を学ぶ外国人の数は、中国、インドネシア、韓国、オーストラリアの順に多く、東アジアと東南アジアを中心に日本語教育の需要が高まっています。国や地域によっては、日本語教師の需要が高騰し、好待遇で働ける機会も増えてきています。今回のセミナーでは、海外で働いてみたいと少しでもお考えの皆様へお役に立つ情報をご提供致します。



参加費無料

主なアジェンダ

フィリピンの日本語教育について

フィリピンでの実践
(失敗談・成功談)

国内と海外で教えることの違い
各国で教える際の注意点

日本語教師ネットワーク機構の想い

日本語教育推進法の施行、日本語教師の国家資格化の動きなど、日本語教師を取り巻く環境は現在大きく変化しており、日本語教師の社会的役割はますます重要になってきています。当機構では、そのような変化の激しい日本語教育の世界を広い視野で見つめ直し、これからの日本語教師に必要な情報をお届けしスキル・資質・能力を伸ばすためのヒントをご提供致します。

オンライン開催日時

2024年5月11日(土)
10時～11時30分

講師:木村賢輔氏



【プロフィール】

日本語パートナーズ™フィリピン4期としてフィリピン公立校へ派遣され、現地日本語教師アシスタントとして活動。その後、現地の日本語学校にて勤務。帰日後、日本語学習用VRアプリ開発や日本語スクールを運営する法人を起業。同法人を解散し、現在は日本語教育を中心に「ノン・ネイティブスピーカー」「グローバル」をキーワードとした事業を開業。

【登壇実績】

- 2021年5月「フィリピン日本語教師フォーラム」
- 2021年11月「釜山日本語教師会」
- 2021年12月「JLESA 南アジア日本語教育フォーラム」
- 2023年10月「海外日本語教育学会」

【プライベート】

父が日本人、母がフィリピン人の家庭で生まれ育つ。日本語、英語、フィリピン語話者。フィリピン人の妻と娘を持つ。中学時代の担任の影響で中高の教員を目指すも、大学3年時に日本語教育に喰らい、日本語教育の道を選択し現在に至る。

【木村氏からのメッセージ】

フィリピンでの日本語教育経験に基づき、失敗談から成功談まで赤裸々にお話しさせていただきます。またSNS上で知り合った世界の日本語教師からの声を集め、各国での指導Tips等についても共有いたします。海外で教える。それは自らマイノリティの世界に飛び込むことで勇気のいることですが、本セミナーを通して少しでも皆様にきっかけや気づきを与え、後押しすることができれば幸いです。

- ◆主催 NPO法人国際教育振興協会 日本語教師ネットワーク機構 (<https://www.kokusai-npo.or.jp/wp/>)
- ◆協力 株式会社 凡人社
- ◆対象 日本語教師
- ◆申込方法 2024年5月9日(木)までに下記URL、もしくは右QRコードにてお申込みください。
【セミナー申込フォーム】 <https://forms.gle/HgDYsSNJRSTfr1gM6>

